

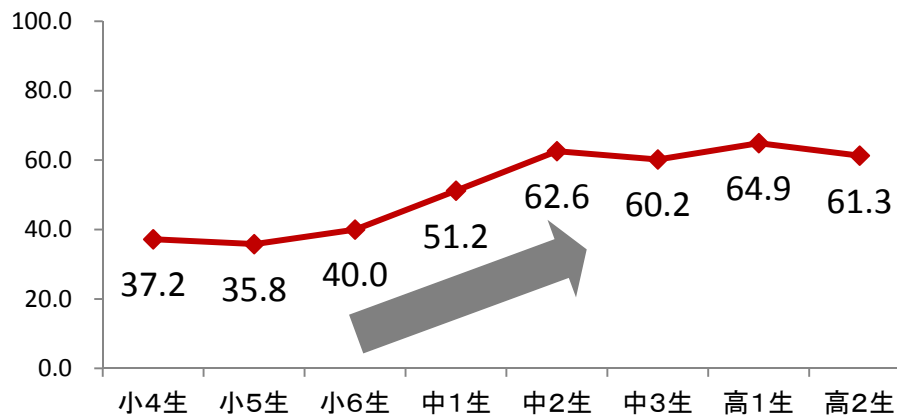
学習に関して

※「第2回子ども生活実態基本調査」(2009年実施)のデータを使用

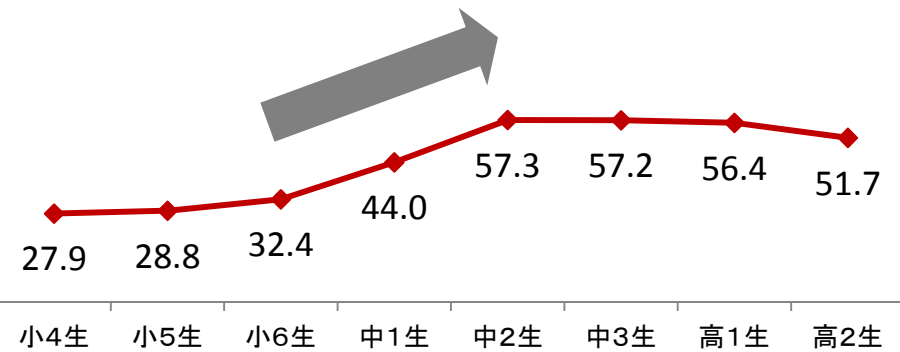
高学年から中学校にかけて意欲が低下、 悩みや後悔が増加

Q: あなたは勉強の取り組み方について、次のようなことがあてはまりますか。
※「とてもそう」+「まあそう」の%。

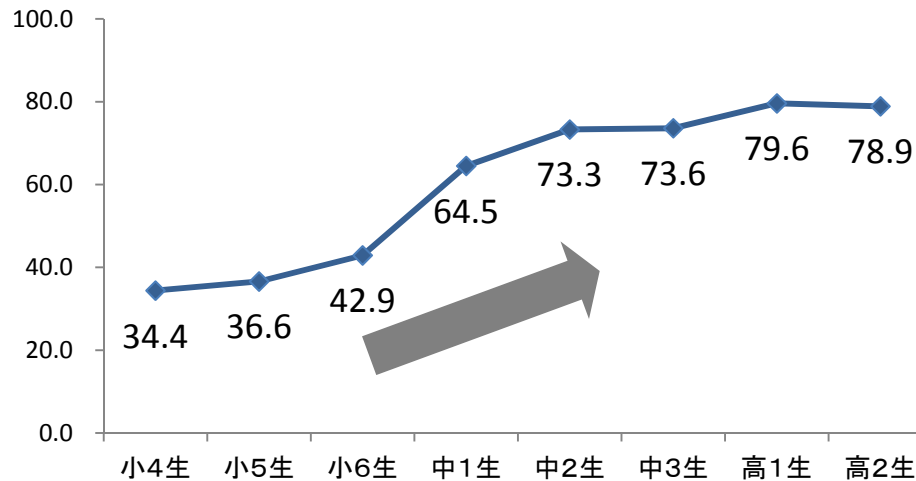
勉強しようという気持ちがわからない



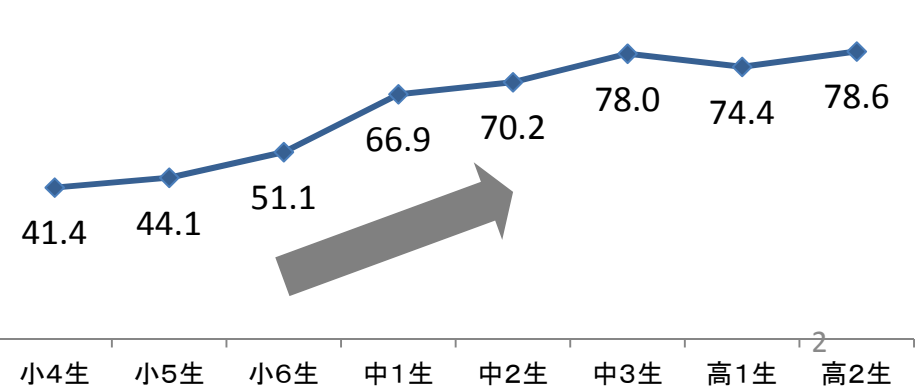
どうしてこんなことを勉強しなければいけないのかと思う



上手な勉強の仕方がわからない

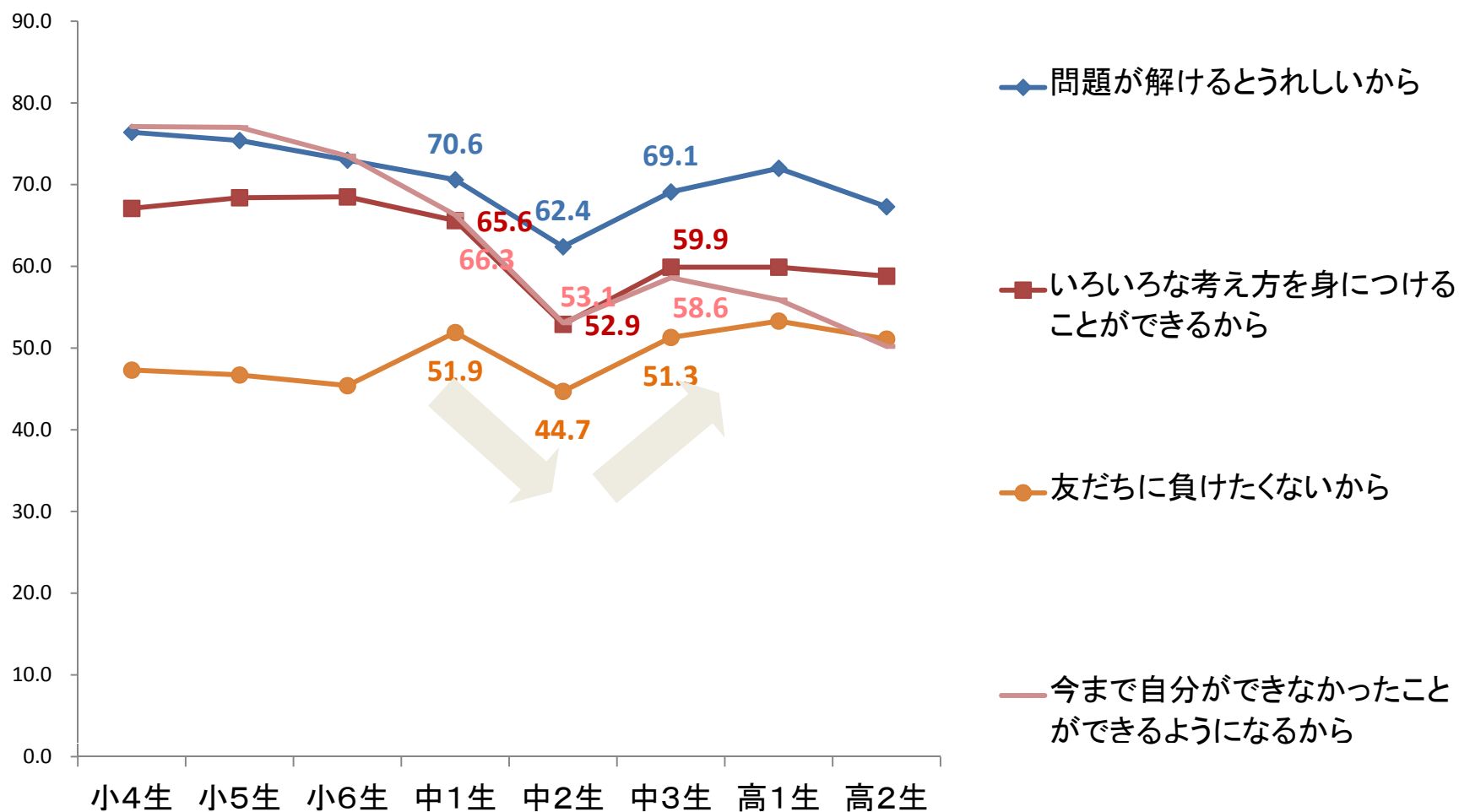


今までにもっときちんと勉強しておけばよかったと思う



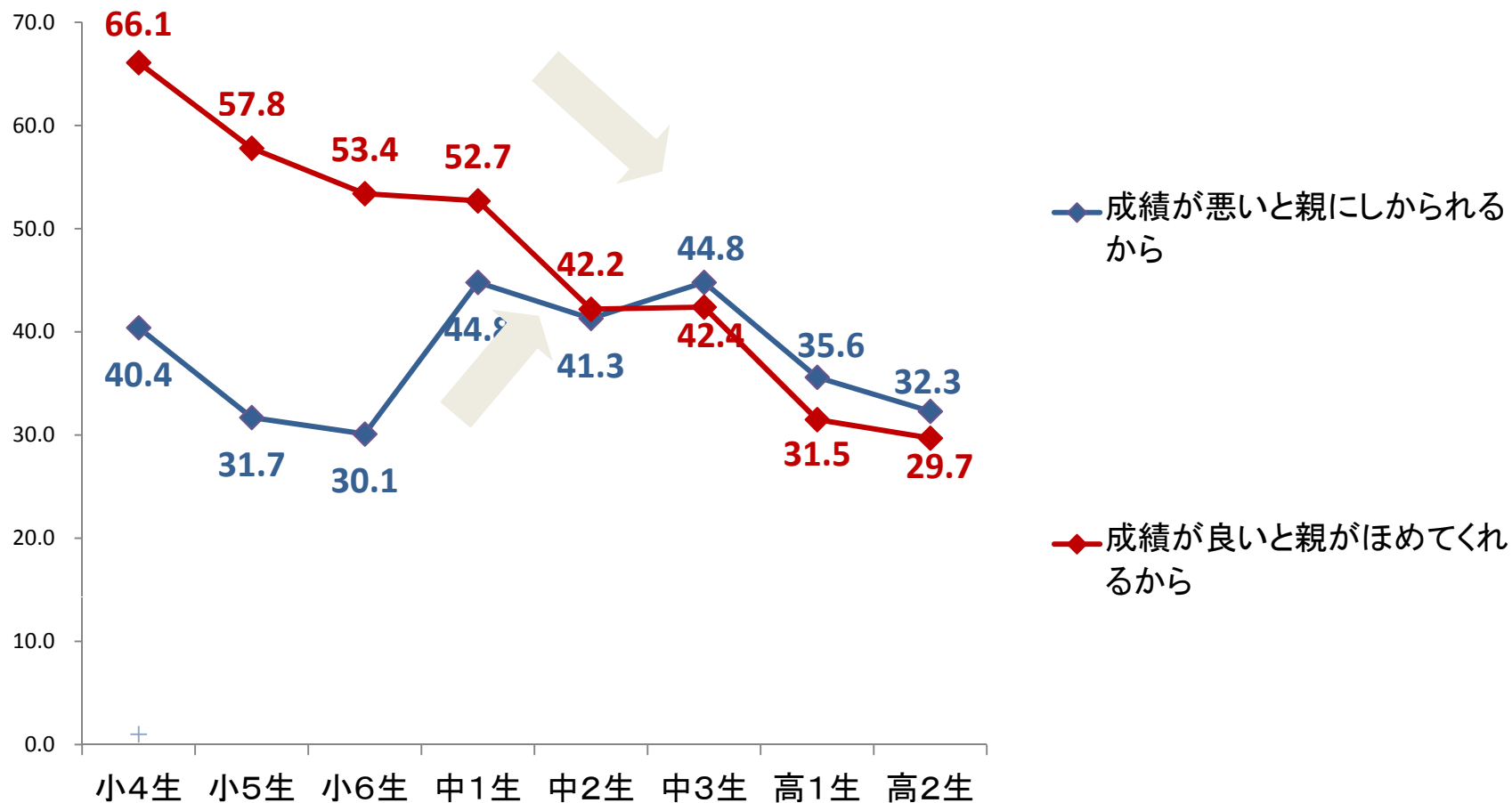
中2生で前向きな動機を見出す生徒が減少。 中1ギャップだけでなく中2も重要な転機。

Q: あなたが勉強しているのは、どうしてですか。 ※「とてもそう」+「まあそう」の%。



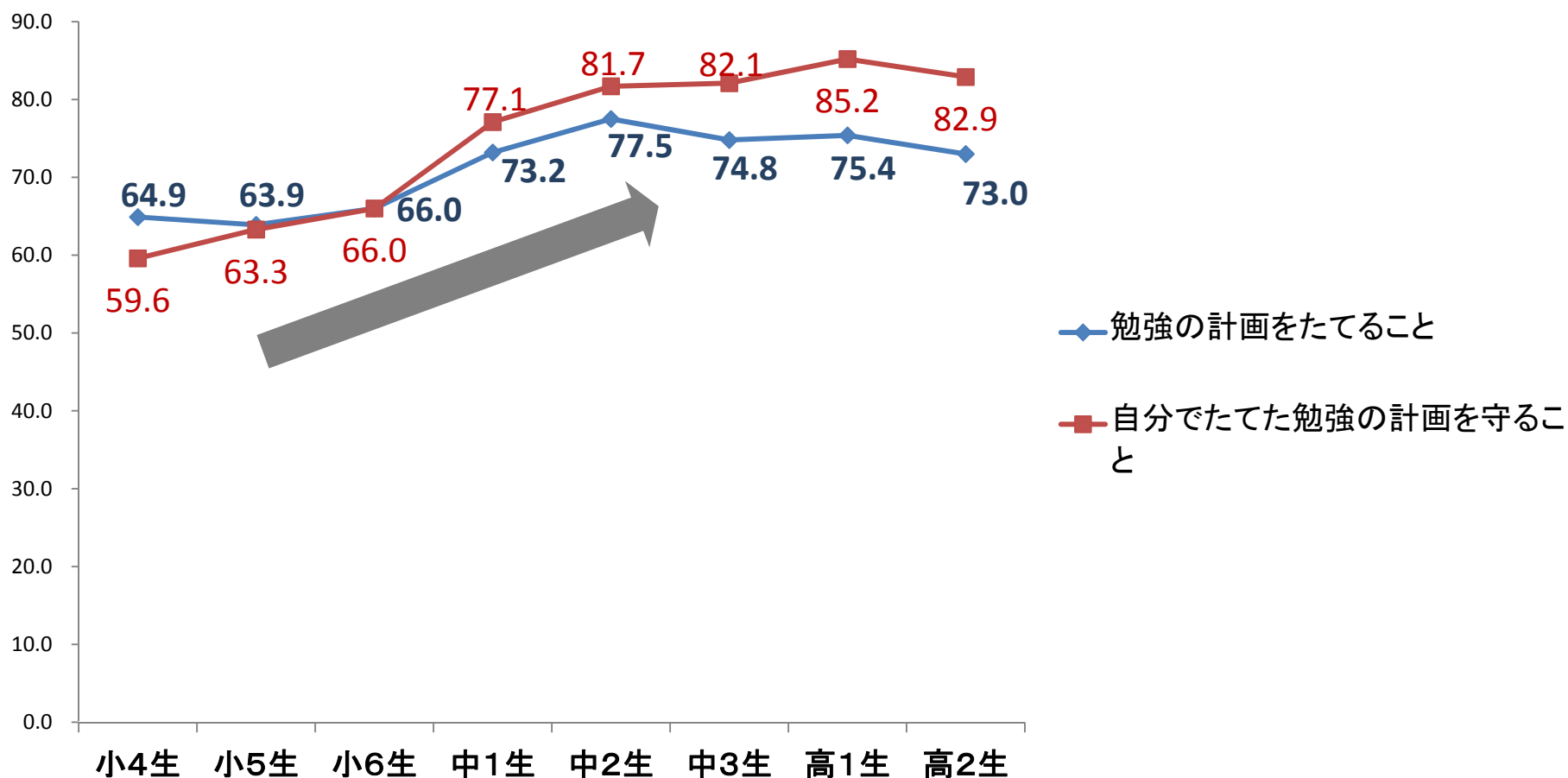
「ほめられるから」勉強する子どもは減少。 中学生で「叱られるから」勉強する子どもは増加。

Q: あなたが勉強しているのは、どうしてですか。 ※「とてもそう」+「まあそう」の%。



小学校→中学校にかけて、勉強の計画を立てたり守ったりするのが「苦手」に感じる子どもが増加

Q：あなたは次のようなことが得意ですか、苦手ですか。 ※「とても苦手」+「やや苦手」の%。



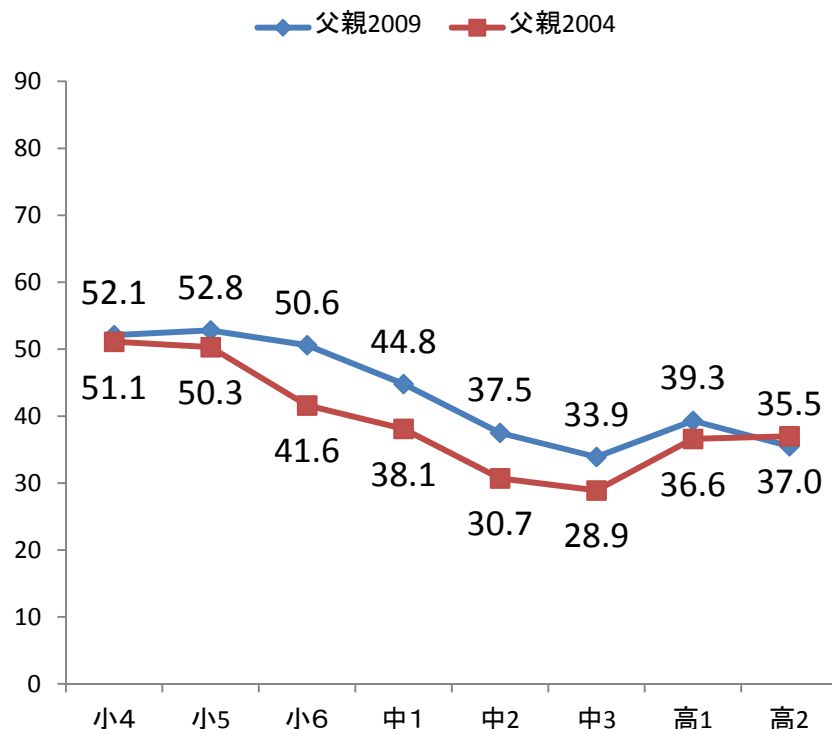
人間関係について

※「第2回子ども生活実態基本調査」(2009年実施)のデータを使用

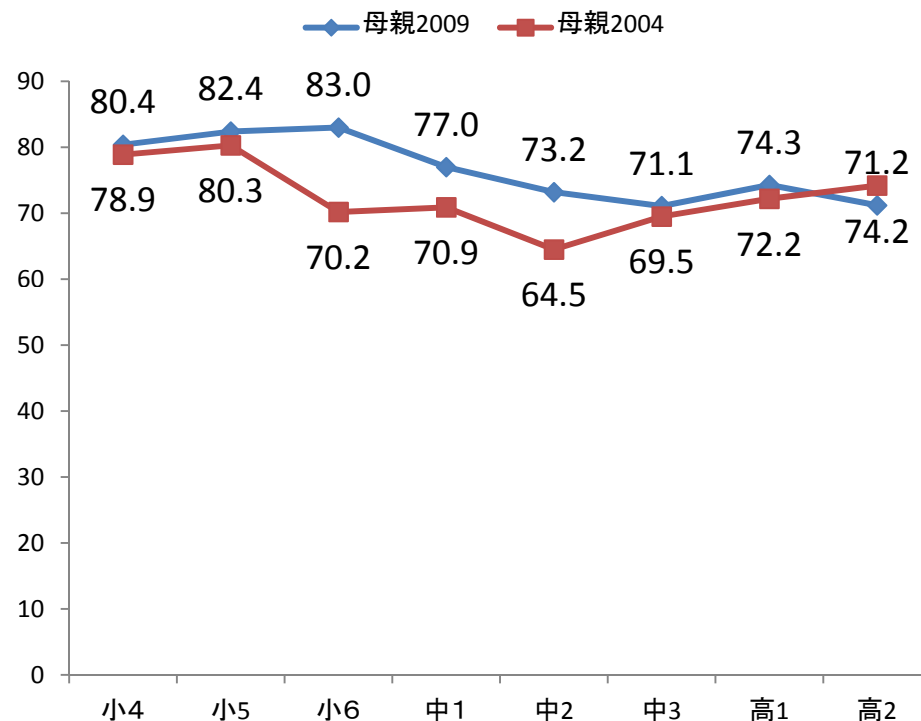
学年別にみると 「学校のことについて」の会話は中高生で少なくなる

Q: あなたは友だちのことについて、お父さんやお母さんとどのくらい話をしますか。

父親との会話



母親との会話



ただし、小6生～中2生を中心に、5年前よりは増加傾向にある！

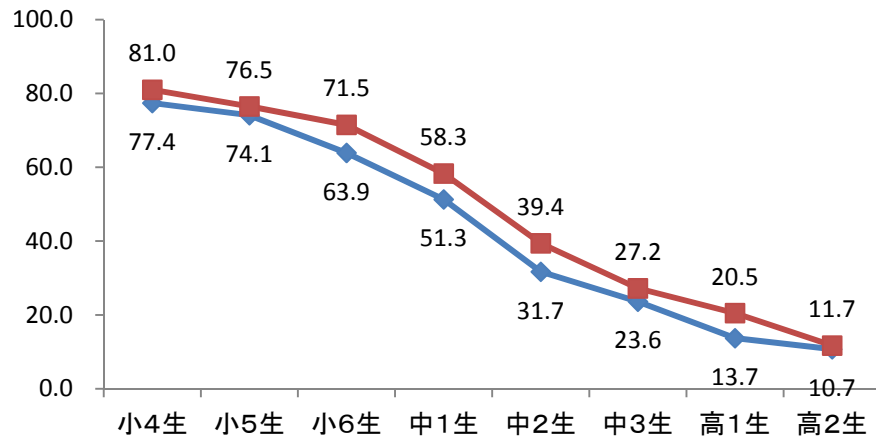
※「よく話をする」+
「ときどき話をする」の%。

※「第2回子ども生活実態基本調査」(2009年実施)のデータを使用

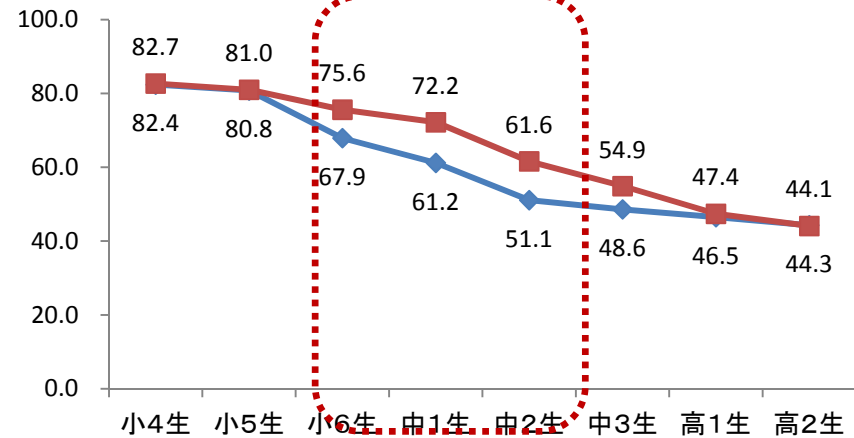
肯定的なかかわりは低学年ほど多い。 ただし、小6生～中2生は2004年と比べ、増加傾向に。

Q：親との関係について、次のようなことはあてはまりますか。 ※複数回答

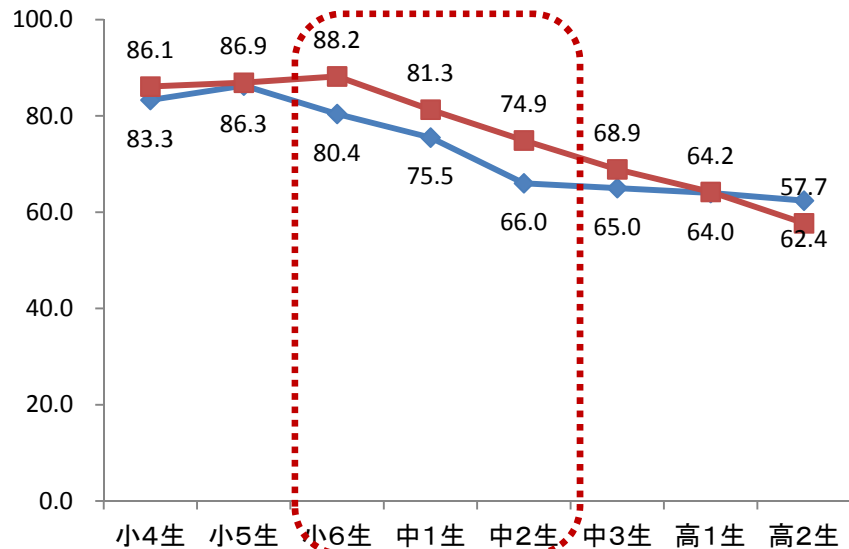
勉強を教えてくれる



いいことをしたときにほめてくれる



悪いことをしたときにしかってくれる



困ったときに相談にのってくれる

